

通常上映

フィリピン映画特集

図書館収蔵のフィリピン映画から、近年の作品を中心に映画史に残る代表作を上映。



インシアン

通常上映

福岡アジア美術館「アジアとヨーロッパの肖像」展協賛

アジアが描いた日本

アジア各国で作られた日本をテーマにした映画の特集。



相撲ち！



神のいない三年間

通常
上映

図書館収蔵のフィリピン映画から、近年の作品を中心に映画史に残る代表作を上映。

フィリピン映画特集

11【木】14:00 14【日】14:00

インシアン

日本語字幕付き

Insiang



インシアンと母親はマニラのスラムの中で親戚達と暮らしていた。母親にはタドという愛人がいたが、タドは若いインシアンに目を付け彼女を犯してしまう。しかし母親はインシアンの訴えを信じようとしない。インシアンはタドと母親に復讐を決意する。

本作は70年代〜80年代のフィリピン映画を代表する巨匠リノ・ブロッカの代表作の一本である。スラムという窮屈で複雑な空間を見事に表現するカメラワークそして人間の心理的葛藤とドラマの構成力など、本作にはフィリピン映画最大の巨匠といわれるブロッカ監督の魅力が凝縮されている。本作はわずか14日間という短期間で撮影された作品だが、78年のカンヌ映画祭に出品され一躍ブロッカの名前を国際的なものにした。

1976年/35ミリ/カラー/93分/フィリピン

監督:リノ・ブロッカ 出演:ヒルダ・コロネル モナ・リサ

11【木】19:00 13【土】14:00

廃墟からの旅立ち

日本語字幕付き

The Ruins



朝鮮戦争から負傷して帰還したヴィクトールは、仕事もままならず厭世観にとらわれてしまう。クラブで働くティタはそんな彼の面倒をみる。ティタ達は廃墟となった教会で暮らしていたが、役所から教会の取り壊しのために退去命令がでるのだ。ティタリアのネオ・リアリズムを彷彿とさせる作品。巨匠ランベルト・アベリャーナ監督の代表作。

1956年/16ミリ/モノクロ/119分/フィリピン

監督:ランベルト・アベリャーナ 出演:トニー・サントス ローサ・ロサル

12【金】19:00 13【土】17:00

シスター・ステラ・L

日本語字幕付き

Sister Stella L



修道院の尼僧シスター・ステラ・Lは未婚の母親達を支援していたが、ある日労働者のストライキに巻き込まれ、ブラカードを持つて先頭を歩く。深刻な労働問題を知らなかった彼女は、労働者の支援を積極的に行うようになる。宗教と政治の問題を描いて論争を巻き起こした作品で、フィリピンを代表するマイク・デ・レオン監督の80年代の代表作。

1984年/35ミリ/カラー/104分/フィリピン

監督:マイク・デ・レオン 出演:ヴィルマ・サントス ジェイ・イラガン

5【金】19:00 6【土】17:00

Sayonara, Good-by

さよなら・再見



監督:イェ・チンション
出演:リウ・ロンカイ
ワン・シエンチャン

日本語字幕付き

日本語ができる台湾人青年・秋雄は、上司の命令で日本の取引先企業の役員達を温泉に案内する。ところが日本人達の一行は別名「千人斬りクラブ」といい、買春が旅行の目的だった。秋雄は仕事と良心のジレンマに悩みながらも世話を続けるのだった。脚本家・大和屋竺が協力しており、リアルな日本人像が描かれる。

1986年/35ミリ/カラー/100分/台湾

5【金】14:00 7【日】11:00

Three Years Without God

神のいない三年間



監督:マリオ・オハラ
出演:ノーラ・オノール
クリストファー・デ・レオン

日本語字幕付き

日本がフィリピンを占領した1942年〜45年を舞台にした作品。日本の軍人マズギと、彼にレイプされ子供を産むロサリオが主人公である。注目すべきはマズギが真剣にロサリオを愛し、戦争の意味を熱く語るなど人間的な存在として描かれていることで、日本軍の残虐さのみを描いた作品とは一線を画している。フィリピン映画史に残る傑作。

1976年/35ミリ/カラー/124分/フィリピン

4【木】14:00 7【日】14:00

Let's Sumo

相撲ら!



監督:アフドリン・シャウキ
出演:アフドリン・シャウキ
インティラ・チャオエンブラ

日本語・英語字幕付き

「ボレ寿司」で働くことになったダメ男のラムリー。対する「ダイヤモンド寿司」は「ボレ寿司」を潰すために相撲大会での勝負を持ちかけてくる。一念発起したラムリーたちは日本に武者修行にやってくる。相撲を使ったスポコン娯楽映画という珍しい作品。日本の場面は太宰府や福岡市内でのロケが行われている。

2007年/35ミリ/カラー/144分/マレーシア=日本



ピザさえあれば



母と子

会 期: 12月10日(水)~24日(水)

※休館日・休映日を除く

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の呈示が必要です。)

※「わの会」会員は250円(会員証の呈示が必要です。)

10【水】14:00 13【土】11:00

まごとの母

True Mother



日本語字幕付き

マグダレーナは恋人がいながら、過ちから別の男性の子供を出産してしまふ。体面を重んじる父親は子供を貧しい女性に預けてしまふ。本作はほぼ完全な形で現存する最古のフィリピン映画で、ミュージカル形式で作られた。本作に登場する女の子はフィリピンのシャリー・テンプルと呼ばれた。※本作は古いため状態がよくありません。

1939年/35ミリ/モノクロ/96分/フィリピン

監督:オクタヴィオ・シロス 出演:ロサリオ・モレノ ルディー・コンセプション

18【木】23【火・祝】
14:00 14:00

香港で家政婦をしていたジョーシは6年ぶりにマニラに帰ってきた。ジョーシが香港にいた間に夫は亡くなっており、子供達はずっと変わっていった。特に長女は徹底的にジョーシに反抗するのだった。本作は子供のために働いても報われない母親の苦悩を描き、フィリピン映画史上最大のヒット作となった。

母と子

日本語・英語字幕付き



Child

2000年/35ミリ/カラー/120分/フィリピン

監督:ロリー・B・キントス 出演:ヴィルマ・サントス ジョエル・トーレ

20【土】24【水】
11:00 11:00

テレは20年間もニューヨークに暮らしている40代のフィリピン人女性。彼女を中心に新聞記者のマイク、コピライターのジョーイ、美しい女性の友人マリサなどアメリカに暮らすフィリピン人達の生活を描いた作品。フィリピン映画としては初めてアメリカでロードショーされた作品。

アメリカン・アドボ

日本語・英語字幕付き



American Adobo

2002年/35ミリ/カラー/104分/フィリピン

監督:ローリス・ギリエン 出演:クリストファー・デ・レオン リッキー・ダバオ

19【金】21【日】
14:00 11:00

ジョーイは10年ぶりにマニラに帰ってくる。癌に冒された母親の世話のための帰国だった。ジョーイは昔からの仲間である三人の女性カティ、シルビア、マリサと旧交を温めるのだが、彼女たちもそれぞれに家族の問題を抱えていた。アバヤ監督の「モラル」(82年)の続編だが、大人の女性の抱える問題を描いた映画として独立した作品でもある。

昔と今

日本語・英語字幕付き



Then and Now

2003年/35ミリ/カラー/127分/フィリピン

監督:マリル・ディアス=アバヤ 出演:ディナ・ボネビー エウラ・バルデス

20【土】24【水】
14:00 14:00

ジェスはホテルのタクシー運転手。アメリカで働く夢を持つジェスだが、いつもビザ申請を却下されていた。そんな時ジェスはアメリカ人のテレビ番組制作者と知り合い、彼のガイドをすることに。コミカルでハートウォームな物語の中に、家族とは何か、何故フィリピン人は海外に出て行くのかといった問題が描かれている。

ビザさえあれば

日本語・英語字幕付き



La Visa Loca

2005年/35ミリ/カラー/107分/フィリピン

監督:マーク・メイリー 出演:ロビン・パディリア ルファ・マエ

12【金】14【日】
14:00 11:00

貧しい家庭の少女ルーペは、肩拾いをして生活していた。ある日クラブの歌手のオーディションを受けて見事優勝する。若さと天性の上手さでルーペは人気があるが、先輩歌手のルーフィは彼女をねたみ追い出そうとする。現在もトップスターである歌手シャロン・クネータを主役にしたスター誕生物語。

少女ルーペ

日本語字幕付き



I Carry the World on My Shoulder

1987年/35ミリ/カラー/127分/フィリピン

監督:リノ・ブロッカ 出演:シャロン・クネータ ロレッタ・マルケス

18【木】20【土】
19:00 17:00

州知事で大農園を経営するミゲルには二人の娘がいた。そこへミゲルの昔の恋人の娘ベスが町長に立候補するためにやってくる。フィリピンの封建的な家族制度の中の三人の姉妹の葛藤が描かれたメロドラマの大作である。マヨン山の美しい風景、癒着する企業と権力、それに立ち向かう人々の希望が描かれる。

あの日の約束

日本語・英語字幕付き



Yesterday's Promise

1994年/35ミリ/カラー/135分/フィリピン

監督:ジョエル・ラマガン 出演:アルバート・マルティネス アリス・ディクソン

17【水】21【日】
14:00 14:00

ロエラは未婚で出産するが、そのままでは働くことができないため、2才の息子を教会に預けて香港に働きにでる。7年後ロエラは帰ってくるが、教会は移転しており息子は行方不明になっていた。フィリピンの海外契約労働者の問題を描き、家族とは何かということを問いかけた作品。フィリピン映画の巨匠、アバヤ監督の代表作の一本。

マドンナ・チャイルド

日本語・英語字幕付き



Madonna and Child

1996年/35ミリ/カラー/121分/フィリピン

監督:マリル・ディアス=アバヤ 出演:ローナ・トレンティーノ ステファノ・モーリ

19【金】23【火・祝】
19:00 11:00

レイアは二人の子供の母親だったが、子供の父親は違う男性だった。またレイアは女性をDVの被害から救う施設で働いていた。ある日息子が自転車で怪我をしてしまうが、二人の父親とレイアは病院で鉢合わせとなる。フィリピンでベストセラーとなった小説の映画化作品。子供と家庭の問題、仕事と女性の問題を正面からとりあげた作品。

レイア

日本語字幕付き



Lea's Story

1999年/35ミリ/カラー/109分/フィリピン

監督:チト・ローニョ 出演:ヴィルマ・サントス アリエル・リベラ

通常
上映

アジアが描いた日本

アジア各国で作られた日本をテーマにした映画の特集。

会 期: 12月3日(水)~7日(日)

観覧料: 500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)
※「わの会」会員は250円(会員証の提示が必要です。)

4【木】6【土】
19:00 11:00

広島廿八

監督:ルン・コン
出演:ジョセフィン・シャオ
チャールズ・チン

Hiroshima 28



日本語・英語字幕付き

広島に住む被爆者の今井栄作は、長女の婚約を機に自分が被爆者であることをうち明けるが、娘はショックを受け家庭は混乱してしまう。香港の俳優が日本人を演じており、違和感はない。しかし74年という時代に反核をテーマにし、日本で撮影された香港映画という貴重な作品である。

1974年/35ミリ/カラー/99分/香港

3【水】6【土】
14:00 14:00

族譜

監督:イム・ゴンテク
出演:チュ・ソンテ
ハ・ミョンジュン

The Genealogy



日本語字幕付き

日帝時代の創氏改名をテーマにした作品。谷は、改名を頑なに拒否する地方の大地主ソルを説得するために派遣される。しかし谷は次第にソルの人柄に惹かれていく。梶山季之の小説を映画化した作品。監督は韓国を代表する巨匠イム・ゴンテクで、創氏改名に抵抗する一族の悲劇が日本人青年・谷の視点から描かれている。

1978年/35ミリ/カラー/106分/韓国

12月

上映スケジュール

	1 月	休 館 日		
	2 火	休 館 日		
アジアが描いた日本	3 水	14:00 族譜		
	4 木	14:00 相撲ら！	19:00 広島廿八	
	5 金	14:00 神のいない三年間	19:00 さよなら・再見	
	6 土	11:00 広島廿八	14:00 族譜	17:00 さよなら・再見
	7 日	11:00 神のいない三年間	14:00 相撲ら！	
	8 月	休 館 日		
	9 火	休 映 日		
フイリピン映画特集	10 水	14:00 まことの母		
	11 木	14:00 インシアン	19:00 廃墟からの旅立ち	
	12 金	14:00 少女ルーペ	19:00 シスター・ステラ・L	
	13 土	11:00 まことの母	14:00 廃墟からの旅立ち	17:00 シスター・ステラ・L
	14 日	11:00 少女ルーペ	14:00 インシアン	
	15 月	休 館 日		
	16 火	休 映 日		
	17 水	14:00 マドンナ・アンド・チャイルド		
	18 木	14:00 母と子	19:00 あの日の約束	
	19 金	14:00 昔と今	19:00 レイア	
	20 土	11:00 アメリカン・アドボ	14:00 ビザさえあれば	17:00 あの日の約束
	21 日	11:00 昔と今	14:00 マドンナ・アンド・チャイルド	
	22 月	休 館 日		
	23 火祝	11:00 レイア	14:00 母と子	
24 水	11:00 アメリカン・アドボ	14:00 ビザさえあれば		
	25 木 ▶ 26 金	休 映 日		
	27 土	「クリスマス親子の集い」		
	28 日	年末年始の休館日		
	▼ 1/4 日			
	1/5 月	休 館 日		

次号 特別企画
予告 川島雄三監督特集

45才の若さで亡くなった日本映画史に残る鬼才・川島雄三の代表的作品を特集。
会 期：平成21年1月7日(水)～1月31日(土)
上映作品：『幕末太陽傳』『暖簾』『貸間あり』『女は二度生まれる』『雁の寺』『しとやかな獣』など全11作品。



◆◆◆福岡日伊協会映画鑑賞会◆◆◆

『ミラノの奇蹟』(1951年制作・96分)

監督:ヴィットリオ・デ・シーカ/出演:フランチェスコ・ゴリザーノ、ブルネッラ・ボーヴォ他

日 時：2008年12月8日(月) 19:00～21:00 ※入場無料・先着120名

会 場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

主 催：福岡日伊協会 TEL092-476-2153(西日本シティ銀行内)

協 力：財団法人福岡文化財団

福岡アジア美術館
「アジアとヨーロッパの肖像」展

広義のポートレイト、すなわち人体表現をともなう絵画、彫刻、写真などにより、アジアとヨーロッパの互いの他者像と自己像の変遷を検討する。

会 期：2008年12月6日(土)～2009年1月25日(日)
※休館日は毎週水曜日及び年末年始
(12月26日～1月1日)

会 場：福岡アジア美術館 企画ギャラリー(7階)
福岡市博多区下川端町3-1

リパレインセンタービル



岸田劉生「童女図(麗子立像)」
1923年/神奈川県近代美術館所蔵

観覧料：一 般 800円(前売り600円)
高大生 500円(前売り300円) 中学以下無料

問い合わせ先:福岡アジア美術館 TEL:092-263-1100

クリスマス親子の集い
子育てのおはなしと絵本の語り読み

日 時：12月27日(土) 14:00～16:00

会 場：福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

出 演：植木とみ子 徳永玲子 塚本美樹

入場料：無料(ただし往復ハガキによる申し込みが必要)

応募方法：往復ハガキに、①クリスマス親子の集い希望②住所③氏名
④電話番号⑤参加希望人数を記入し、往復ハガキの返信用
あて先に、住所、氏名を記入して下さい。

申し込み期限:12月10日(必着)。一枚につき4名まで応募可能。
※応募者多数の場合は抽選となります。

申し込み・問い合わせ先:総合図書館図書利用課
福岡市早良区百道浜3-7-1/TEL:092-852-0621

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラでの自主上映(非営利に限る)を希望される方は、
下記のとおり利用申し込みを受け付けいたします。

■利用申し込み対象期間：平成21年6月～11月まで
※別途配布の申し込み用紙に対象日を記載しています。

■申し込み受付期間：
平成20年11月23日(日)～12月4日(木)※休館日除く

■抽 選 日：平成20年12月6日(土) 午前11時より

■抽選会場：福岡市総合図書館3階第2研究室

■利用申し込み方法：
福岡市総合図書館で配布中の申し込み用紙をご提出下さい。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄

●西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

●天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分)
●博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分)
●福岡タワー南口バス停から徒歩3分
所要時間は交通事情により異なります。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):092(852)0600

映像資料課:092(852)0608 Fax:092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ「うえぶシネラ」<http://www.cinela.com>